

新型コロナウイルス感染予防のためのガイドライン
(2020年7月16日 一部改訂版)

新型コロナウイルス感染拡大予防のため、当面の間、下記のとおり留意すること

1. 次の場合は出場/参加を控えること
(ア)体調が良くない場合（発熱・咳・咽頭痛などの症状がある場合）
(イ)同居家族や身近な知人に新型コロナウイルスの感染が疑われる人がいる場合
(ウ)過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国・地域等への渡航又は当該在住者と濃厚接触がある場合
2. 球場への出入りの際はマスクを着用のこと
3. 手洗い、アルコール等による手指消毒をこまめに実施すること
4. 試合中、球審はマスクやマスクシールドを使用するなど、飛沫感染の予防に努めること。合わせて、イニングの合間にこまめに水分を補給するなどして、熱中症の予防に十分に注意すること（塁審はマスク着用はしない）
5. 更衣室はできるだけ解放して換気を行い、交代で着替えをするなどして密閉・密集・密接を避けること
6. 感染防止のために主催者が定めたその他の措置を遵守すること
7. 出場試合・大会終了後2週間以内に新型コロナウイルス感染症を発症した場合は、主催者に対して速やかに濃厚接触者の有無等について報告すること

感染予防を目的として、審判員より試合中の選手に特に注意喚起を行う事柄

1. グラウンドに痰や唾を吐かないこと
2. ハイタッチやグータッチなどの行為を行わないこと

注1 会場や選手の年齢・カテゴリーの特性に応じて、各団体においてより詳細なルールやガイドラインを設けることは差し支えない。

注2 今後の知見の集積や各地域の感染状況を踏まえ、本ガイドラインは修正をする場合がある。